

## 第4学年 国語科学習指導案

児童 4年1組 男23名 女16名  
指導者 渡 辺 信 子

## 育てたい主となる能力(基礎・基本)

・場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むこと。

(読ウ)

- 1 単元名 場面をくらべて読もう  
教材名 一つの花

## 2 子どもと単元について

- (1) 子どもたちは、「読むこと」の学習として、「三つのお願い」では話の展開や登場人物の気持ちを読み取り、場面や登場人物の様子が表れるように声に出して読むことを、「白いぼうし」では情景描写や人物描写に気を付ける読み方を知り、作品をより楽しんで感想を深めることを行ってきた。これらの学習により、子どもたちは場面の様子や登場人物の気持ちを考えながら音読を工夫したり、大事な言葉を見付け自分の考えをもちながら読んだりすることができるようになってきている。
- 子どもたちは、読書活動を好み、週2回の朝読書にも意欲的に取り組んでいる。また、図書館の利用も多く、教科書に出てきた作家の本を読んだり、いろいろなジャンルの本に親しんだりして、読書の幅を広げている子が増えている。
- これらの学習や活動を通して、子どもたちは、言葉から場面の様子や人物の様子を考えると、自分の考えをもちながら読むことができるようになってきた。
- (2) 本単元「場面をくらべて読もう」は、キーワードを手がかりとする読み方を知り、場面意識をもって登場人物の様子や情景を読むことをねらいとしている。子どもたちは、戦争中と戦争後の場面を比べ、場面の移り変わりや登場人物の心情の変化を想像しながら読み取っていくものと思われる。
- 本教材「一つの花」は、内容が戦争中と戦争後に大きく分かれており、6場面で構成されている。親が子を思う心や美しいものを大事にする人間らしい心が、平和への願いとともに、描かれている作品である。さらに、作品の随所に対比的な表現が見られ、「一つだけ」のコスモスと「いっぱい」のコスモス、「一つだけ」の食べ物と「お肉とお魚とどっち」など、戦争中と戦争後の場面を比べてその違いを読み取ることができる。「一つだけ」という現実と「みんな」「山ほど」「両手を出す」という両親の願い、プラットホームでの見送りの場面にも対比的な表現が見られ、場面の状況や人物の心情をより明確に浮き上がらせている。また、比喩表現やダッシュは、豊かなイメージの広がりをもたらし、指示語や接続語は作品の展開や様子をとらえる上で効果的に活用され、読みを深めることができる。これらのことから、本教材は単元のねらいに適した教材であると考えられる。
- (3) 本単元では、基礎・基本の定着を図るために、**場面の移り変わりや情景を、言葉を基に想像しながら読む**という領域の特性を生かした言語活動を行う。
- ・戦争中と戦争後の場面の様子や、ゆみ子への両親の思いを言葉に気を付けながら読む。  
(「深める」段階)
  - ・情景を表す言葉を対比させたり、場面と場面のつながりを表す言葉を見付けたりして、場面の移り変わりの様子を読む。  
(「深める」段階)
  - ・両親の会話や行動を表す文の中から大事な言葉を見付け、自分の考えをもちながら読む。  
(「深める」段階)
  - ・読み取ったことを基に「一つの花」という題名について思ったことや考えたことを話し合う。  
(「確かめる」段階)

単元の学習を進めるに当たっては、下記の5つの言語意識を明確にする。

|         |   |
|---------|---|
| 相手意識    | 学級の友達に  |
| 目的意識    | 戦争中と戦争後の様子について思ったことを伝えるために                                      |
| 場面・状況意識 | 登場人物への手紙を書き、交流する。   |
| 方法意識    | 言葉を基に場面の情景を想像しながら読む。  |
| 評価意識    | 友達の感想を聞いたり、自分の感想を話したりすることにより、自分が戦争中や戦争後のことを想像して読むことができたか自己評価する。 |

#### 《読書との関連》

本単元では、読書との関連を以下のように図っていく。

本教材は、戦争を題材にした内容である。そこで、戦争を題材にした物語、また、同一作者の作品を読む活動を盛り込み、読書活動を活性化していく。

#### 【ブックトラックに用意した本のリスト】

| 番号 | 書名                | 著者名      | 出版社      |
|----|-------------------|----------|----------|
| 1  | おかあさんの紙びな         | 長崎源之助    | 岩崎書店     |
| 2  | おこりじぞう            | 山口勇子     | 新日本出版社   |
| 3  | とうろくながし           | 松谷みよ子    | 偕成社      |
| 4  | ほたる               | 山本真理子    | 岩崎書店     |
| 5  | わたしのヒロシマ          | 森本順子     | 金の星社     |
| 6  | 『戦争と平和』子ども文学館 1 2 | 長崎源之助 ほか | 日本図書センター |
| 7  | 今西祐行全集第6巻         | 今西祐行     | 偕成社      |
| 8  | 太郎コオロギ            | 今西祐行     | 実業之日本社   |
| 9  | 一つの花              | 今西祐行     | 岩崎書店     |
| 10 | ちいちゃんのかげおくり       | あまんきみこ   | あかね書房    |
| 11 | 八月がくるたびに          | おおえひで    | 理論社      |
| 12 | まっ黒なおべんとう         | 児玉辰春     | 新日本出版社   |
| 13 | 戦火のなかの子どもたち       | 岩崎ちひろ    | 岩崎書店     |
| 14 | 大人になれなかった弟たちに・・・  | 米倉齋加年    | 偕成社      |
| 16 | 地雷ではなく花をください      | 葉 祥明     | 自由国民社    |
| 17 | おはじきの木            | あまんきみこ   | あかね書房    |
| 18 | B29がせめてきた         | 井戸本幸子    | せせらぎ出版   |
| 19 | 語り伝えるヒロシマ・ナガサキ    | 安齋育郎（監修） | 新日本出版社   |
| 20 | ぼうさまになったからず       | 松谷みよ子    | 偕成社      |
| 21 | まちゃんと             | 松谷みよ子    | 偕成社      |
| 22 | ひろしまのピカ           | 丸木 俊     | 小峰書店     |
| 23 | かわいそうなぞう          | つちやゆきお   | 金の星社     |
| 24 | ガラスのうさぎ           | 高木敏子     | 金の星社     |
| 25 | マヤの一生             | 椋 鳩十     | 大日本図書    |
| 26 | ピカドン              |          | 講談社      |
| 27 | 光村ライブラリー（太郎コオロギ他） | 樺島忠夫（監修） |          |

ここで身に付けた「場面の移り変わりや情景を、叙述を基にしながら読む力」は、国語科をはじめ、他教科、他領域の学習において生かすことができる。例えば、今後の読書活動で様々な本に出会った時、言葉に着目しながら読むことにより、場面の情景や登場人物の思いを豊かに想像して本の世界に深く迫ることができ、より意欲的に楽しんで読書をしようとする態度を育てることができる。

### 3 学習指導目標及び評価規準

| 学習指導目標              |  |
|---------------------|--|
| 国語への<br>関心・意欲・態度    | 時代背景を考えながら，場面の情景や登場人物の様子を叙述を基に想像しながら読み取ろうとする。                                      |
| 読む能力                | 場面の情景と登場人物の様子を叙述を基にしながら読むことができる。<br>(読 ウ)<br>読み取った内容について自分なりの感想をもつことができる。<br>(読 エ) |
| 言語についての<br>知識・理解・技能 | 題名や時代背景を理解するために，必要な語句を増やすことができる。<br>(言エ(ア))  |

### 4 学習指導計画及び評価規準

12時間(読 12)

| 過程          | 学習内容と主な学習活動  |   |   |
|-------------|--|---|---|
|             |  | 国語への<br>関心・意欲・態度  | 読む能力  |
| 見<br>通<br>す | 全文を通読し，あら<br>す<br>じをつかみ初発の感<br>想<br>をもつこと<br>・新出漢字や語句に気<br>を<br>付けながら読む。<br>・全文を読み，初めの<br>感<br>想をもつ。<br>・漢字と語句の練習を<br>す<br>る。 1<br>時 | 題名の「一つの花」の<br>意味を考えることで，<br>教材に関心をもとうと<br>している。<br>< 発言・態度<br>> | 戦争中の様子や登場<br>人<br>物に関心をもち，感<br>想<br>や疑問をもってい<br>る。<br>< 発言・ノー<br>ト<br>>         |
|             | 場面ごとに読みの課<br>題<br>を作り，学習計画を<br>立<br>てること<br>・場面分けをし，自分<br>の<br>読みの課題をもつ。<br>・学習計画を立てる。   | 感想や疑問点を交流し<br>合いながら，学習課題<br>を立てようとしてい<br>る。<br>< 挙手・発言<br>>     | 時代背景やゆみ子に<br>対<br>する両親の思いに視<br>点<br>を当て，感想や疑問<br>を<br>交流し合い，学習課<br>題<br>を立てている。 |

|     |  |  |   |
|-----|--|--|---|
|     |  | 2  | < 発言・ノート >  |
| 深める | ゆみ子が「一つだけ<br>ち<br>ようだい」を覚えた<br>時<br>代背景を読み取るこ<br>と<br>・ゆみ子が「一つだけ<br>ち<br>ようだい」を最初に<br>覚<br>えた理由を考える。<br>1<br>時 | ゆみ子が「一つだけち<br>ようだい」という言葉<br>を最初に覚えてしまっ<br>た理由を考え、時代背<br>景を読み取ろうとして<br>いる。<br>< 挙手・態度 > | ゆみ子が「一つだけ<br>ち<br>ようだい」という言<br>葉<br>を最初に覚えてしま<br>っ<br>た理由を考え、叙述<br>を<br>基に時代背景を読み<br>取<br>っている。<br>< 発言・ノート > |
|     | ゆみ子を思いやる父<br>親<br>の様子を読み取るこ<br>と<br>・ゆみ子をめちゃくちゃ<br>に高い高いする父親<br>の<br>気持ちをを読み取る。<br>2<br>時                      | ゆみ子に対する父親の<br>様子を読み取ろうとし<br>ている。<br>< 挙手・態度 >  | ゆみ子に対する父親<br>の<br>様子を、叙述を基に読<br>み取っている。<br>< 発言・ノート >   |
|     | 父親が戦争に行く日<br>の<br>母親の様子を読み取<br>る   | 父親が戦争に行く日の<br>情景や母親の様子を読<br>み取ろうとしている。   | 父親が戦争に行く日<br>の<br>情景や母親の様子を、<br>叙述を基に読み取っ<br>て<br>いる。<br>< 発言・ノート >   |
|     | こと   | >  | >   |
|     | ・ゆみ子の泣き顔を父<br>親<br>に見せたくなかった母<br>親の気持ちをを読み取<br>る。<br>3<br>時  | >  | >   |
|     | 戦争に行く日の父親<br>の<br>様子を読み取るこ<br>と<br>・家族と別れていく父<br>親<br>の気持ちをを読み取る。  | 戦争に行く日の情景や<br>父親の様子を読み取る<br>うとしている。<br>< 挙手・態度 >                                       | 戦争に行く日の情景<br>や<br>父親の様子を、叙述<br>を<br>基に読み取ってい<br>る。  |

|      |   |  |   |
|------|---|--|---|
|      |   | 4<br>時   | <発言・ノート>  |
|      | <p>一輪のコスモスの花をゆみ子に手渡して去っていく父親の様子や気持ちを読み取ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泣き出したゆみ子に一輪のコスモスを手渡した父親の気持ちを読み取る。</li> <li>・何も言わずに汽車に乗って去っていく父親の気持ちを考える。</li> </ul> <p>本時5<br/>時</p> | <p>一輪のコスモスに託した父親の思いを読み取ろうとしている。</p> <p>&lt;挙手・態度&gt;</p>         | <p>一輪のコスモスに託したゆみ子を心配する父親の気持ちや願いを、叙述を基に読み取っている。</p> <p>&lt;発言・ノート&gt;</p>    |
|      | <p>十年後のゆみ子の様子を読み取ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争後と戦争中のくらしを比較して考える。</li> <li>・ゆみ子がどのように成長したか読み取る。</li> </ul> <p>6<br/>時</p>   | <p>戦争中と比較し、戦後の様子やゆみ子の成長を読み取ろうとしている。</p> <p>&lt;挙手・態度&gt;</p>     | <p>戦争中と戦争後では暮らしたゆみ子がどのように成長したのかを、叙述を基に読み取っている。</p> <p>&lt;発言・ノート&gt;</p>    |
| 確かめる | <p>読み取ったことを基に「一つの花」について考えること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一つの花」の意味することを考え、感想をもつ。</li> </ul> <p>1<br/>時</p>  | <p>読み取ったことについて、初発の感想と比べながら、自分の考えをもとうとしている。</p> <p>&lt;態度&gt;</p> | <p>「一つの花」の意味するものや登場人物の気持ち、戦争について触れながら自分の考えをもっている。</p> <p>&lt;発言・ノート&gt;</p> |
|      | 感想を交流すること   | 自分の感想や題名につ   | 友達の感想と比べな   |

|         |  |  |   |
|---------|--|--|---|
|         | ・感想を交流し合い「一つの花」という題名について考えたことを深め合う。<br>2<br>時                          | いて、考えを深めようとしている。<br><挙手・態度>              | がら、題名についての自分の考えをもっている。<br><発言・ノート>              |
| 広げ<br>る | 今西祐行の作品や戦争中のことが書いてある作品を読むこと<br>・作者の願いについて考えながら作品を読み、感想をもつ。<br>1・2<br>時 | 作者の願いについて考えながら作品を読み、感想をもとうとしている。<br><態度> | 作品を読んで感想をもち、作者の願いや作品に共通することを考えながら読んでいる。<br><態度> |

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

父親の会話や行動から、一輪のコスモスに託した父親の思いを読み取るうとする。

父親の会話や行動から、一輪のコスモスに託したゆみ子を心配する父親の気持ちや願いを読み取ることができる。

### (2) 展 開

|                                 |   |        |  |
|---------------------------------|---|--------|--|
| 前<br>時<br>ま<br>で<br>の<br>学<br>習 | 学習内容<br>・戦争に行く日の父親の様子を読み取ること。<br>言語活動<br>戦争に行く日の情景や父親の様子を叙述を基に読み取る。<br>支 援<br>・プラットフォームの情景を表している文と、父親の様子を表している文を比べながら読むことを助言する。 |        |  |
| 過<br>程                          | 学習内容・学習活動   | 形<br>態 | ・支援 「主発問」 評価<評価方法>   |
| 課<br>題<br>を<br>つ<br>か<br>む      | 1 前時の学習を想起すること<br>(1分)<br>2 本時の学習課題を確認すること<br>(1分)<br>お父さんは、どんな思いで「一つだけ」の花をゆみ子にあげたのだろう。   | 全<br>全 | ・前時のまとめから、家族と別れていく父親の気持ちを想起することができるようにする。<br>本時の学習課題と解決の見通しをもち、意欲をもって取り組もうとしているか。<br><表情・態度> |
| 一<br>輪<br>の                     | 3 学習範囲を確認し音読すること<br>(4分)<br>(1) 学習範囲を音読する。  | 全      | 「お父さんの会話や行動に気を付けて読みましょう。」<br>・接続詞「ところが」や「いよいよ汽車が入ってくるという時になって」という言葉に着目し、ゆみ子が                 |

コスモスに込められた父親の思いを読み取る

4 課題を解決すること  
(1) コスモスに込めた父親の思いを一人学びする。  
(10分)

個

泣き出した時がまさに父親が汽車に乗る直前だったことを確認し、別れが迫っている場面の情景をpushさえる。

・お父さんの気持ちが込められている会話や行動を表す文を見付けながら読むようにする。

「お父さんはどんな思いで、ゆみ子に一輪のコスモスをあげたのか考えましょう。」

・ゆみ子への思いが表れている父親の会話文や行動を表す文にサイドラインを引く。

・サイドラインを引いた文の中から、コスモスに込めた父親の思いが想像できる言葉を書き抜いて、自分の考えを書くようにする。

A 最後の別れになるかもしれない、という状況で

の会話であることをとらえ、「一つだけの花」

に

着目しながら、一輪のコスモスに託したゆみ子を

心配する父親の気持ちや願いを読み取っている。

B 一輪のコスモスに託したゆみ子を心配する父親

の気持ちや願いを読み取っている。

全  
(2) 父親の思いについて学び合

全  
いをす

「お父さんはどんな思いで一つだけの花をゆみ子にあげたの

すじょう。・ただ泣きやんでほしいだけでニスマスを手渡したの ではないことをとらえながら、父親の行動やニスマ

る。 (18分) 5 課題について書きまとめをする。

---

---



モスの咲いている様子を関連付けて考えるようにする。・ノスモスの花はどんなところに咲いているのか、どんな

(5分) 6 学習のまとめをすること(1)まとめの音読をする。 (3分) (2)自己評

全個 全

まとめる

花なのかを想起させ、「ニスモス」の花が象徴しているものは何かに触れながら、父親の思いを考  
えるようにする

価をする。  
(2分)7 次時の学習内容を確認すること  
と  
(1分)

。「」「」だけあげよう。「」の父親の会話から、「」輪の「」スモスは託した父親の思いを考えるようにする。「」ゆみ子

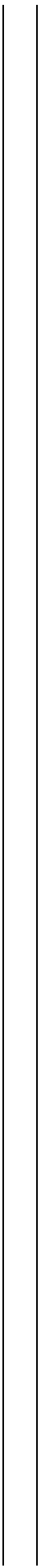
次時の学習

の喜ぶ姿を見たお父さんは、どんな様子だったでしょう。……ゆみ子の喜ぶ姿を見た後の父親の様子「はっこり笑

---

---

「何も言わずに」の花を見つめながら等 から、汽車に乗って去っていく父親の思いを考える ことがす



きる ように はする 。 ・ ・ ・ 輪 の ニ ス モ ス の 花 は は 、 父 親 の ゆ み 子 に 対 す る 深 い 愛 情 が 込 め ら れ て い る こ と を 、 そ れ ぞ れ の



読み取った言葉で書きまとめ、交流する。・父親の思いを考えながら読む、と語り視点を示す。・本時の学習を振

---

---

り返り・満足感・成就感をもつことができるようにする。・次時は、十年後のゆみ子の様子を読み取ることを確認

---

---



し、意欲化を図る。父親の会話や行動から、一輪のニスモスは託した父親の思いを読み取るうとじていたか。

---

---

< 発言・ノート・自己評価 > 父親の会話や行動から、一輪のニスモスは詫したゆ み子を心配す

る父親の気持ちや願いを読み取ることができたか。

< 発言・ノート > 学習内容・十年

---

---

後のゆみ子の様子を読み取ること言語活動——戦争中と戦争後の暮らしの様子がどのようには変わったのか・ゆみ子がど

---

---

のようは成長した。のかを読み取る。支援・暮らしの様子が分かる言葉に着目し、戦争中の暮らしと比較しながら

---

---

ら読み取ることができ、るようにする。また、ゆみ子の成長が分かる言葉に着目し、小さい頃と比較して読むこと

がひきかかるといふ。